

施策番号 1-2-2	施策名 地域資源を活用した観光の振興	基本目標	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり			
		政策名	農業と連携した活力ある商工業と観光物産の振興			
	主管課	魅力創造課	課長名	西田昌樹	内線	231
	施策関係課	生涯学習課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
農業や景観、食など本町の地域資源を活かした観光による魅力づくりを行うため、本町のブランド力の戦略的な活用を図りながら、観光誘客の促進を目指します。		町外観光客	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の滞在時間と日数を増大させ、観光消費の拡大を図る 観光資源が認知され、新規観光客とリピーターを獲得する 					芽室町が道内・国内・海外に発信される 交流人口の増で消費の拡大につながる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 芽室町外からの観光入込客数	十勝総合振興局まとめ	人/年	198,800	171,600	150,900	179,950	209,000	
② 新嵐山スカイパーク利用者数	魅力創造課(旧商工観光課)調べ	人/年	488,100	362,389	281,257	382,129	513,000	
③								
④								
成果指標設定の考え方	①段階的に209,000人/年を目指す。②年1%増加を目標とし、30年度から34年度までの5年間につき5%増で設定							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	189,718	149,203	181,664
人工数(業務量)	1.6208	2.2427	2.1407

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍における移動自粛、施設の一部閉鎖等による影響と想定される。
②2022年度の目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	観光振興にとって、現況下での移動自粛、制限は最も大きなマイナス要因となり、今後の新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、急激な回復は見込めない。 しかしながら、来るべき回復状況を見込み、その時の素地となるべき対応準備を怠らず、遂行することで大幅なマイナスは回避できるものとする。 そのために芽室町観光物産協会との連携、新嵐山のリニューアルの動きへの対応などと連動しながら観光資源と特産品の魅力を発信していく。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	ふるさと納税特典贈呈事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「ふるさと納税特典贈呈事業」→コロナ禍における巣ごもり需要などにより寄附申込件数が増え、比例して寄附金額も増えている。しかしながら、一人当たり寄附単価額が下がっていることから正比例した寄附金額の増はなかった。 ・「新嵐山スカイパーク運営支援事業」→新プランに基づく改革を断行したことにより管内をはじめとする新規利用者層を呼び込むことができたが、それを上回るコロナによる影響が大きく響き、人の流れの制限などにより、特に海外、道外、管外からの旅行・観光客が激減し、それに伴って利用者数が激減した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
				○	

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症で、短期的にはこの行く先により成果の成否が左右される。 ・一方では巣ごもり需要によりふるさと納税額が伸びている自治体も多い。この現象が今後も恒常化するものとみられることから、商品開発とあわせて、町全体の魅力を発信していく必要がある。 <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人を呼び込めない現状であるが状況回復を想定した準備、回復後にスタートダッシュできる状況づくりが必要である。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・新嵐山スカイパーク改革に関する関係機関、関係者への説明の徹底 ・ふるさと納税寄附額の向上への新たな取り組み

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・新嵐山活用計画に基づいた施設整備、管理運営を進め、スカイパーカー帯の資源を活用した新しい魅力づくりに取り組み集客を図る。 ・ふるさと納税は、現状分析と目標額の設定、課題と解決策を明確にして、魅力的な情報発信、返礼品事業者との信頼関係構築、返礼品数の増、芽室町観光物産協会との明確な役割分担と連携した対応などを進め、寄附件数(金額)の増加を目指す。 ・SNSを活用した「魅力発信」や「特産品購入への誘導」を実施し、観光物産協会との連携、新嵐山のリニューアルの動きへの対応などと連動しながら観光資源と特産品の魅力を発信していく。 ・ふるさと会は高齢化、会員数の減少が進んでいることから、新たな会員増の方策を見出す。 ・観光物産協会は安定した経営状況の実現による自立を目指すため、組織体制の見直しを支援していく。 ・ゲートボール大会開催支援事業は、実施の可否に関わらずゲートボールを観光資源に位置付けた振興策を見出す。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標は大幅に減少しているが、コロナ禍という外的要因によるものであることを考えると、変わらないと評価する。		A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	進捗結果				○	

A: 実現した
B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	コロナ禍の中、色々な取り組みをしていることは評価できる。心情としてはC評価だが、他市町村との比較や成果指標などを勘案して「D維持した」と評価する。コロナ禍で後退してもおかしくない中、維持したことは、大変評価している。		A	B	C	D	E
今後の取組に対する意見	・メモロスキー場に町民還元料の設定をすることはどうか。／・芽室町の広告塔である町長の発信に外国語の表記等も必要ではないか。／・お金の使い方の中で泊まるのが1番滞在時間も長くなりお金も使っていたので、泊まるということ(方向性)も検討していただきたい。／・新嵐山は町民が誇れる場所であってほしい。また、町内唯一の観光地であるので、今一度足を止めて町民の意見を聞いても良いと思う。／・ふるさと納税特典贈呈事業は税収増加のみならず魅力発信にも大切な事業なので、頑張っていたいただきたい。	進捗結果				○	

A: 実現した
B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した